

環境施設事業本部

当本部は、下水や汚水を処理する設備、浄水処理設備、汚泥再生処理設備、ゴミなどの廃棄物を焼却する廃棄物焼却設備などのプラント及び機器を製品としています。これらの環境に貢献する技術・製品を提供することにより、「環境調和事業」を目指して環境保全活動に取り組んでいます。

環境改善施設メーカーとして、環境汚染物質の除去、廃棄物の除去、省資源、省エネルギーなど環境改善を促進できる技術を開発し、機器及びプラントとして実用化し、社会に貢献してまいります。

代表取締役専務取締役

環境施設事業本部長

岡 武



本年当本部ではISO14001の認証を取得しました。現地工事を含め営業・研究・技術・設計・調達など全ての業務活動において、汚染予防に努めるとともに、環境負荷低減への継続的な改善に取り組んでまいります。

ダイオキシン類分解処理装置

クボタが開発したダイオキシン類分解処理装置は、独自の光化学分解方式により水中ダイオキシン類を定量下限以下レベルまで分解・除去できます。

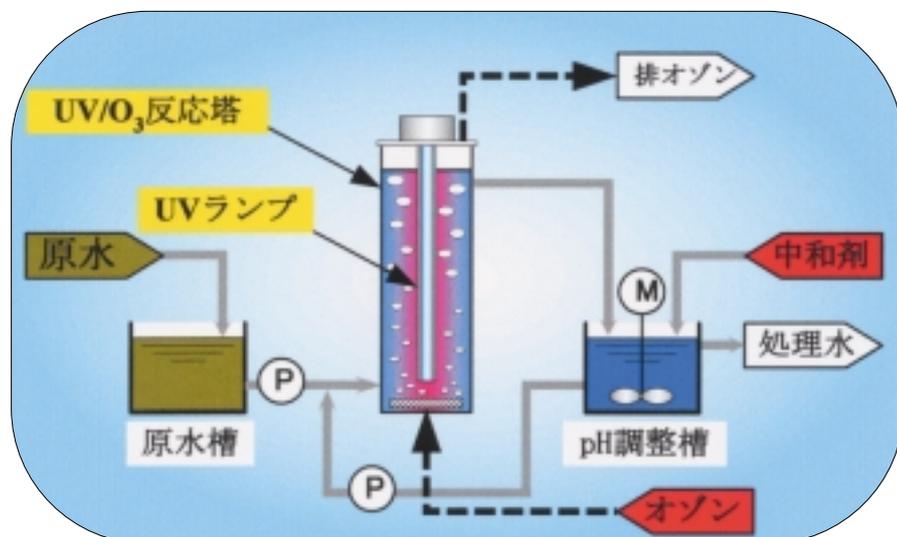
高いダイオキシン類分解性能に加え、常温・常圧下で、低いランニングコストで運転できます。埋立浸出処理水中のダイオキシン類除去装置の国内第1号機としての納入・稼働実績をはじめ、数件の埋立処分場にも設備を建設中です。

洗煙排水系の高濃度ダイオキシンに対しても、厚生省から高い評価を頂き「高濃度ダイオキシン類汚染物処理技術マニュアル」の中に光化学分解方式が採用されています。また、大阪府豊能郡美化センター周辺環境改善事業における水処理業務(国内初のダイオキシン類処理業務)において、当社のダイオキシン類分解処理装置が採用されました。処理水質は0.1pg-TEQ/l以下で「ダイオキシン

類対策特別措置法」で定められた環境基準値の1/10以下でした。



ダイオキシン分解塔



光化学分解方式ダイオキシン類分解装置基本フロー

下水汚泥循環流動焼却システム

下水道網の整備と処理水質の高度化が進むとともに、下水処理場で発生する汚泥の最終処分が大きな問題となっています。

クボタの循環流動焼却システムでは、この下水汚泥を高温で焼却し、無害化・安定化をはかります。システムの中心となる循環流動炉では、炉内に熱媒体である高温の砂の循環を作り出すことで、極めて安定した焼却性能と、ダイオキシンなどの有害物質の発生を最小限に抑えたクリーン燃焼を実現しました。

汚泥の性状変動にも強く、高カロリー化の進む下水汚泥の安定焼却、し渣・沈砂との混焼に大きな威力を発揮します。

省エネルギー性も追求し、補助燃料の低減、省電力化の徹底により、CO₂排出量の削減に貢献します。



循環流動炉

汚泥再生処理センター (廃棄物資源化循環システム)

もともと高い資源価値を有するし尿や生ごみを、これまでは外からエネルギーをかけて処理してきました。

クボタはこれらの有機性廃棄物をメタンガスとして効率よく回収して発電することにより、電気エネルギーや温水等の

熱エネルギーとして施設内で有効活用することを可能にしました。下伊那郡西部衛生施設組合は環境負荷を低減した最新の廃棄物資源化循環システムを採用した施設です。



長野県下伊那郡再生処理センター「クリーンひる西部」(平成12年3月竣工)

ガス化溶融システム

ごみ焼却技術は環境負荷低減(排ガス量削減、スラグ再利用等)に向けた改新が飛躍的に進んでいます。

クボタ・ガス化溶融施設は省エネルギー及びリサイクルを最大限に実現するシステムとして開発され、次々と社外評価・

表彰(廃棄物研究財団、ウエステック及び産業機械工業会)を受け、高い評価を得ています。この新しいシステムを加え、一般及び産業廃棄物処理施設での更なる環境保全・調和に貢献します。



ガス化溶融炉